

小林節さん 安保法制 廃止を語る

明白な憲法違反の法案に対して、安倍首相は何一つ、国民を納得させられる事実、論理を示さないまま、安全保障関連法案を強行採決しました。これに対して、多くの国民が怒りで立ち上がった。我々は愚民ではない、文明国家の国民であると。これは歴史的瞬間だと思います。

普段は街頭でマイクを持つことに慣れていない学者たちもひとつになって、毎日、デモの前で声を張り上げた。大学生、ママの会、東京でも地方でも、反対の聲が広がっています。これは組織的なものではなく、自然発生的なものです。つまり、旧安保条約の反対運動とは明らかに違う。この怒りは燎原の火です。ずっと燃え広がっていくと思います。

さて、今後のたたかい方はいくつもあります。

まず、言論人で立憲政治を守るネットワークを立ち上げます。100人くらいを発起人にして、生臭い政治家は入れず、超党派のネットワークを広げて、政治に勝手をさせない、民主主義的手続きを守る、独裁国家を生ませないための国民的啓蒙運動を広げていく。…中略…

国民に怒りを忘れさせない。どれだけ、我々が失礼な目にあつたか、その怒りを抱かせ続ける。それを持続させて、来年の参院選を戦う。参院選は野党共闘の練習だと思っています。本番は2年後か3年後の総選挙ですが、そのために参院選では真の野党共闘の準備をする。総選挙で政権交代させれば、閣議決定をやり直し、安保法の廃止法案を提出して、可決させる。憲法蹂躪法を葬り去ることができるのです。憲法を守るために共闘する政治運動に私は参加することを厭わない。…中略…

民主主義を取り戻す戦いは、まだ始まったばかりなのです。

(2015.9.24『日刊ゲンダイ』より転載)

埼玉選出国會議員は、安保関連法にどういう態度をとったのか

(敬称略)

賛成

〈衆議院〉			三ッ林裕巳 自民 (14区)		
土屋 品子	自民	(13区)	柴山 昌彦	自民	(8区)
野中 厚	自民	(12区)	小泉 龍司	無所属	(11区)
大塚 拓	自民	(9区)	山口 泰明	自民	(10区)
豊田真由子	自民	(4区)	中根 一幸	自民	(6区)
新藤 義孝	自民	(2区)	〈参議院〉		
黄川田仁志	自民	(3区)	矢倉 克夫	公明	
村井 英樹	自民	(1区)	古川 俊治	自民	
輿水 恵一	公明	(比例)	西田 実仁	公明(*)	
牧原 秀樹	自民	(比例)	関口 昌一	自民(*)	
神山 佐市	自民	(7区)	*は2016年改選の議員、その他の参議院議員は2019年改選。		
今野 智博	自民	(比例)			
田中 良生	自民	(15区)			

反対

〈衆議院〉		
大島 敦	民主	(比例)
小宮山泰子	民主	(比例)
梅村さえ子	共産	(比例)
枝野 幸男	民主	(5区)
武正 公一	民主	(比例)
塩川 鉄也	共産	(比例)
鈴木 義弘	維新	(比例)
坂本祐之輔	維新	(比例)
〈参議院〉		
行田 邦子	無所属	
大野 元裕	民主(*)	